

村上春樹研究中心成立三週年紀念演講會

學校要聞

【記者吳婕凌淡水校園報導】村上春樹研究中心於11日上午在T506教室舉辦研究中心成立三週年紀念演講會，邀請到日本淑德大學教授、村上春樹研究大師，亦為知名文藝評論家的清水良典，以「村上春樹世界的秘密通道」為題進行演講，逾30人到場聆聽。清水良典表示，第一次來台灣演講很高興，也謝謝這樣的信任。而演講首先介紹村上春樹的成長背景和重要獲獎紀錄，並和歷年來從1979至2017的作品做連結，如《聽風的歌》、《海邊的卡夫卡》、《1Q84》到去年出版的《刺殺騎士團長》，而亦舉例像《世界末日與冷酷異境》與《舞·舞·舞》兩本書中都帶有和自己影子對話的意味，其他書籍也都點出書中之議題後分析其中重要觀點，為村上春樹之作品做精闢解析，賦予十足典範學習。

村上春樹 (1949-)



京都市伏見区生まれ。兵庫県西宮市、声優市で育つ。父ともにも言語教師。
早稲田大学第一文学部国文学科を7年かけて卒業。
学生時代にジャズ喫茶「ビーターキョウト」を経営。
1979年「風の歌を聴け」で第1回新入文学賞を受賞し、デビュー。
1987年に発表した『ルウエイの森』が最初のベストセラーとなり、それ以後、新作が常に社会的な話題となる。
2006年、フランス・カフカ賞を受賞。それ以後、毎年ノーベル文学賞の候補と期待されるようになる。
2009年、エルザレム賞を受賞。
2011年、カタルーニャ賞を受賞。
2017年、ノーベル文学賞を受賞したカズオ・イシグロは、「村上春樹に申し訳ない」とコメントした。



Whiteboard with handwritten notes in Japanese, including the name '村上春樹' and some illegible text.

淡江時報社